

平成24年度  
実施事業

事務事業名 登別地獄まつり半世紀記念事業

区分	No	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	1	魅力ある観光地づくり
小分類	2	心と体を癒す観光のまちづくり
主要な施策	2	②暖かいもてなしの心の醸成
事務事業番号	005	事業開始年度 平成 23 年度 事業終了年度 平成 25 年度 会計種別 一般会計

部 名	観光経済部	グループ名	観光振興グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	登別地獄まつり等への市民の参加を促進することにより、登別温泉やカルルス温泉、上登別温泉への親近感をもってもらい、市民を通じて広く当市観光情報の提供を図り、観光誘客につなげることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	(1) 登別地獄まつり「鬼踊り」参加促進事業 ⇒各町内会で登別地獄まつりの鬼踊りに参加した場合、参加者に日帰り入浴券(1,500円分)を交付するとともに、無料送迎バスを運行した。鬼踊り参加者数383人、バス運行台数10台 (2) 登別市内温泉ホテル・旅館の利用促進事業 ⇒各町内会行事において、登別市内の温泉ホテル・旅館に20名以上の団体で宿泊・日帰り利用する場合、一定金額の利用券を交付した。※宿泊(日帰り)20~50名 30,000円(20,000円)、51名以上 60,000円(40,000円) 交付団体数は宿泊利用2団体、日帰り利用28団体 (3) 観光イベント市民参画事業 ⇒必要の都度、連合町内会事務局をとおしてスタッフを募集し、観光イベントへの市民参画を推進した。 (4) 観光情報等提供事業 ⇒連合町内会事務局に観光イベント等の情報を提供し、町内会会員へ周知した。
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	登別地獄まつり「鬼踊り」参加促進事業において、平成24年に383名の方に鬼踊りに参加いただいたが、今年度は500名の参加を目標とする。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費(財源内訳)の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	601	1,515	1,922		
事業費 合計			601	1,515	1,922	0	0

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果指標	① 鬼踊り参加者	人	目標値	250	500	500		
			実績値	284	383			
	② 登別市内温泉ホテル・旅館の利用促進事業	件	目標値	5	28	28		
			実績値	1	30			

比較		《 Check 》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
平成23年度の鬼踊りには15団体284人、平成24年度は20団体383人の参加があった。 参加者数は着実に増加しており、各町内会の方々は来年も参加したいとの声が多く、評判は非常に良かったが、さらに多くの市民に参加いただけるような仕組みづくりが必要。	半世紀記念開催となる平成25年度は、これまで以上に多くの市民に参加していただき、楽しんでいただけるよう町内会以外の団体の参加について検討を進めている。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《 Check 》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 イベントへの市民の参加や市内温泉施設の利用を通じ、登別観光の魅力を実際に体感してもらい、市民一人ひとりの観光に対する意識の高揚を図るために当該事業を実施しており、民間や他の団体での実施は困難である。
	<input type="radio"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="radio"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="radio"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 鬼踊りへの参加者数や、ホテル・旅館の利用促進事業における利用団体数は、年度ごとに増加しており、また町内会の方々にも好評をいただいていることから、必要性の高い事業と考える。
	<input type="radio"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 市連合町内会が参加者の取りまとめ業務を主体的に行うなど、低予算で効率的に事業が実施できている。
	<input type="radio"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="radio"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 鬼踊りへの参加者数や、ホテル・旅館の利用促進事業における利用団体数は、年度ごとに増加しており、また町内会の方々にも好評をいただいていることから、成果は上がっていると考える。
	<input type="radio"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="radio"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="radio"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《 Check 》

終了	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	平成25年度で50回という節目を迎える登別地獄まつりの開催に向けた平成23年度からの3カ年事業であるため。
----	----------------------	---

②行政評価会議による評価 《 Check 》

終了	備考	
----	----	--